

平成24年度 山口県介護支援専門員連絡協議会 代議員総会

議 事 録

1 日 時

平成24年5月26日（土） 午後1時から午後2時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク 社会福祉研修室（山口市）

3 出席者

59人（内委任状提出数7）

4 内 容

（1）報告事項

平成23年度補正予算について

細則変更について

会費の値上げについて

（2）上程議案

第1号議案 平成23年度事業報告について

第2号議案 平成23年度決算報告について

第3号議案 役員改選について

第4号議案 平成24年度事業計画（案）について

第5号議案 平成24年度収支予算（案）について

第6号議案 会則変更について

5 審議の経過

橘 副会長 代議員総数70名に対し、当日参加者52名、委任状総数7通、委任状を含めた会員出席数が59名となり、会則第20条の規定を満たしており、会議が成立していることを報告した。また、会則第21条に則って、廣石順丈氏が議長に選出された。

議 長 続いて、総会議事録署名人の選出について、議長指名とすることを満場に諮り、全員異議なく、次の出席者を指名した。

中川 信司

倉増 とき子

議 長 報告事項に入り、「平成23年度補正予算について」報告を求めた。

松谷副会長 「平成23年度補正予算について」説明した。

大久保会長 補正後の次年度繰越額が減少したことについて、ケアマネジメント研究大会の収支が予定より大幅に違ったこと、その理由として国体の関係で開催時期が年明けとなったことと併せて大会周知の時期が遅くなったことがある。会場の場所も他県の方の集客を見込み下関にしたが、県内からの交通が不便になり集客が見込めなかった。また、テーマ、講師の決定が遅れたことに加え、理事、地域の皆様への途中報告ができず、周知をしていただく中でお願いの仕方についても意思相通が図れず迷惑をかける形となった。今後は理事、地域の皆様と顔の見える関係が作れるように新たに取り組んでいけるよう努力をしていく。収支の状況についても途中で把握できるような体制をつくり、事務局委託費についても検討を進めていき、理事、地域の皆様に信頼していただけるような会の取り組みをしていく。

議 長 続いて「細則変更について」報告を求めた。

大久保会長 「細則変更について」説明した。

議 長 続いて「会費の値上げについて」報告を求めた。

大久保会長 会費の値上げについて前回、前々回の理事会で理事の方に承認をいただいている。次年度の繰越金の額を見ていただくとわかるように、次年度の会の運営が厳しい状況もあり1,000円の値上げをお願いした。会員の獲得、研修に参加をいただくことで会の運営の収入源につながるの地域の皆様から会員の皆様へ研修参加の協力をお願いしたい。会費については平成25年度より1,000円の値上げになる。

議 長 以上、報告事項について質疑を求めた。

渡辺宗男氏 予算の執行状況について事務局でのチェックがきちんとされておらず、事務委託の責任を果たしていなかったことに対して、委託先である県社協の委託費減額はなかったのか説明を求めた。

事務局 23年度県社協の委託費は減額にはなっていない。

大久保会長 事務局委託費について会の現状を話し、減額を求めたが、委託を受けた段

階で本来、県社協の定める事務委託金額より低い金額で受けているので減額は無いとの回答を得ている。今後は事務局の見直しについて考えていく。

渡辺宗男氏 事業委託を受けているのであれば会の執行状況についてサポートがなかったことに対して、事務委託の責任を果たしてなかったとして減額するのが当たり前ではないのか。

綿田敏孝氏 事務局委託費が会費を上回っているのはいつからなのか。

大久保会長 県協会が設立された当初の事務局は県社協ではなく県社協は3箇所目の委託先である。当初は事務委託費より会費収入が上回っていたが、日本協会会費の値上げに伴い会員の減少とともに事務委託費を超えるようになった。

県社協からは会の収益を上げ現段階の事務委託費で会が安定して運営できるようにするか、今より委託費の低い委託先を探すかとの意見をいただいております。他の委託先を探すことについて同意を得ている。

議長 続いて議案審議に入り、第1号議案「平成23年度事業報告について」及び第2号議案「平成23年度決算報告について」の両議案については、相互に関連があるので、一括上程することについて、満場に諮ったところ、全員異議なく、両議案を一括上程し、第1号議案については大久保会長に、第2号議案については松谷副会長に説明を求めた。

大久保会長 第1号議案について、平成23年度事業報告について説明した。

松谷副会長 第2号議案について、平成23年度決算報告について説明した。

議長 ここで、平成23年度事業報告及び決算報告について、松井監事より監査報告を求めた。

松井監事 監事として次のとおり報告した。

平成23年度の事業の執行状況について、監査を行った。その結果、事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録は会の状況を正しく示し、不整の点はないことを報告した。

更に、現実的な運営の中、会の持っている費用、支出のバランスがアンバランスであるので精査していく必要がある。事業内容の見直し、予算執行状況の確認を年度途中に行い、年度活動計画を最初に立て、年度途中毎に会の運営を見直ししていただきたい旨の意見があった。

議長 大久保会長、松谷副会長が説明した第1号議案及び第2号議案に関し、一

括質疑を求めたが、特に意見も無いため、第1号議案「平成23年度事業報告について」及び第2号議案「平成23年度決算報告について」満場に諮ったところ、全員異議なく、両議案とも原案どおり可決承認された。

次いで、第3号議案「役員改選について」大久保会長に説明を求めた。

大久保会長 第3号議案「役員改選について」説明した。

議長 第3号議案「役員改選について」満場に諮ったところ、全員異議なく、可決承認された。

ここで会則第11条2により臨時理事会を開催することを伝えた。

橘副会長 臨時理事会を開催し、新会長が佐々木啓太氏に決まったことについて報告した。新会長より新役員について紹介を求めた。

佐々木新会長 新会長挨拶後、新役員について紹介した。

議長 次いで、第4号議案「平成24年度事業計画(案)について」及び第5号議案「平成24年度収支予算(案)について」の両議案は、相互に関連があるので、一括上程することについて、満場に諮ったところ、全員異議なく、両議案を一括上程し、第4号議案については佐々木新会長に、第5号議案については事務局長藤本邦和氏に説明を求めた。

佐々木新会長 第4号議案について、事業方針、重点目標、会全体としての事業計画について説明した。

事務局長 第5号議案については、収入の部・支出の部の目ごとに予算額を説明した。

議長 佐々木新会長、事務局長藤本邦和氏が説明した第4号議案及び第5号議案に関し、一括質疑を求めたが、特に意見も無いため、第4号議案「平成24年度事業計画(案)について」及び第5号議案「平成24年度収支予算(案)について」満場に諮ったところ、全員異議なく、両議案とも原案どおり可決承認された。

次いで、第6号議案「会則変更について」大久保会長に説明を求めた。

大久保会長 第6号議案「会則変更について」説明した。

議長 第6号議案に関し、質疑を求めたが、特に意見も無いため、満場に諮ったところ、全員異議なく、原案どおり可決承認された。

議 長 以上で、すべての審議事項について、すべて議了したことを告げた。
議案審議が円滑に進行したことに対し、謝辞を述べ閉会を宣した。

渡辺宗男氏 予算案をみても分かるように会の運営状況は厳しいが、最悪の場合を打開
するためにも地域支部で会員獲得のために会長より一言お願いしたい。

佐々木新会長 地域協会あつての県、日本協会なので、県として会員のメリットを考え研
修体系の充実、リアルタイムな情報を流せるよう努力していくので、地域に
帰られた際お伝えいただけたらと思う。地域の研修会等に出向いて県の動向
を伝え、地域の声を聞きながら会員獲得につなげていきたい。

橘副会長 その他質疑を求めたが、特に意見も無いため謝辞を述べ閉会を宣した。

と き 午後2時30分

この議事録が、正確であることを証するため、署名捺印する。

平成24年5月26日

山口県介護支援専門員協会

会 長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印